

業務内容

監査 東陽監査法人は、監査基準に準拠した監査マニュアル及び監査ツールに基づいた監査を実施することにより、高品質な監査サービスを提供しています。

監査実施の特徴

当法人は監査の実施に当たり、関与先であるクライアントの皆様とのコミュニケーションを最重要視しています。業務執行社員はもとより、監査チームのスタッフ1人1人に至るまで、クライアントの皆様との良好なコミュニケーションをとり、事業内容及び事業環境を十分に理解することによって、会計・監査上の課題等を相互認識し、問題点を早期に解決することが可能になると考えているからです。

関与先の特徴

当法人の関与先の特徴としては中小規模の会社等が多いことがあげられます。上場会社においても、大手監査法人に代わる選択肢として当法人を選任していただいています。また、非営利法人としては多くの学校法人を関与先としています。

国際業務 海外の会計事務所と連携しながら、国際的な監査、コンサルティング業務を提供しています。国際業務では、必要に応じて海外の公認会計士もメンバーに加え、チームを編成してまいります。また、グローバルな人材育成にも力を入れており、語学学習の支援のほか海外の会計事務所への人材派遣も実施しています。

アドバイザー・サービス

M&A・事業再編、事業再生（ターンアラウンド）、IPO（株式公開）各分野における専門的なサービスを提供するとともにフォレンジック・サービスとして企業間における商業紛争（訴訟）に関する会計的側面から支援を行っています。

IFRS対応

IFRS導入の専門部署であるIFRSアドバイザー部ではIFRS導入に係るコンサルティングサービスも提供しています。

募集要項

応募資格 : 公認会計士試験合格者（過年度合格者を含む）

採用予定人数 : 15名程度

給与 : 法人規定による（月給300,000円）

賞与 : 法人規定による（年2回）

昇給 : 年1回

諸手当 : 時間外勤務手当、通勤手当、休日出勤手当

休日・休暇 : 土・日・祝日（※1年単位の変形労働時間制の運用あり）
年末年始休暇、夏季休暇、試験休暇（実務補習所修了考査等）
慶弔休暇（本人の結婚休暇を含む）、裁判員休暇、出産休暇
育児休暇、看護休暇、介護休暇

社会保険 : 健康保険、厚生年金、企業年金基金、雇用保険、労災保険

契約期間 : 期間の定めなし

試用期間 : あり（3ヶ月）

勤務地 : 本部（東京）・大阪・名古屋

勤務時間 : 10:00～18:00

業務内容 : 監査業務、アドバイザー業務およびその他監査関連業務

研修制度 : 新人研修、継続的勉強会、所内一般研修等 様々な研修制度あり

その他 : 実務補修費・協会登録費・会費 全額法人負担（入所月以降）
ノートPC・携帯電話貸与

法人説明会のご案内は
後日ホームページにてお知らせいたします。

東陽監査法人定期採用サイト

<https://www.toyo-career.com/>



東陽監査法人リクルート公式LINE@
アカウントコード : @ihd5338a

LINE@



本部事務所（東京） 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル6F
大阪事務所 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング19F
名古屋事務所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル5F

東陽監査法人

働き方も描くビジョンも

人の数だけ、

選択肢がある。

あなただけのストーリーを、

東陽で始めよう。

2018

採用のご案内

What's Your Story?

ストーリーを描こう。

東陽監査法人

「IPO×インチャージ」の 責任とやりがい

活躍機会の多い環境で いち早い成長を

大学は工学部でしたが、公認会計士になって、数字とエクセルが得意という自分の強みを活かしたいと考え、独学で試験に臨み、短答式試験に合格。その後、税理士事務所の補助業務に就きました。そこでさまざまな中小企業の会計処理や決算書づくりのサポートに従事しましたが、「いつかは監査法人へ」の想いから勉強は続けました。公認会計士試験に合格し実務経験を得るべく転職活動を開始。大手監査法人から内定をいただきましたが、結果的に準大手の東陽監査法人を選びました。業務全般に関われる環境のほうが、短期間で成長できると思ったからです。その頃、自分はもう35歳で、年齢的に少々焦っていたことも背景にあります。

仕事は、国内の上場企業のほか、金融機関、公益法人などの監査業務。具体的には、現預金など科目ごとに担当が分かれて監査調書の作成に取り組みます。不明点や疑問点があればクライアントの担当者に質問しますが、関連する別の科目担当者がすでに質問していることもあるので、監査チーム内でしっかりコミュニケーションをとり、クライアントに余計な負荷を掛けないように配慮しています。

2年目の期末監査で、去年自分が担当した科目を後輩が引き継ぐことになり、改めて自分が作った調書を見返したところ、反省点や改善点を認識することがありました。1年の間に、多くの監査業務を経験したことによる気付き。そうした成長機会を与えてくれるのも、当法人の魅力です。

伊藤 聖

監査第2部
2017年入所

語学留学から帰国後、ホテル運営会社に就職しましたが、海外を舞台に働いてみたいと思い退職。国際的に活躍できる会計士になるべく専門学校に通いました。試験に1回で合格でき、東陽監査法人に勤める先輩をつたって当法人に入所しました。

以来、国内・国際業務をいろいろ経験してきました。中でも、比較的年次の浅いうちからインチャージを任せられ、その後も継続して担当しているのが株式上場準備（IPO）の監査業務です。株式公開を目指すクライアントに対し、上場審査基準に求められる会計監査を行います。私たちが直接、財務書類の作成や組織管理に関与することはありませんが、公正中立の立場で経営者や管理者の方々に指導、助言します。

クライアントはもちろん、上場支援を行う証券会社からも会計監査人としての意見が求められるので、さまざまな関係者と接しながら業務を調整するコミュニケーション能力は必須と言えるでしょう。スタッフに求めたいのは当事者意識です。そのため、できるだけ仕事は任せています。自分の経験から、責任感や使命感を強く持てば、解決策も自然に考えられるようになるからです。

創業間もない企業が上場に至るまで数年はかかります。その間、私たちはクライアントを支え、見守り続けます。日本取引所のセレモニーで、クライアントの皆さんが鳴らす“鐘の音”を聞くと、いままでの苦勞が報われます。その感動は、この仕事の大きなやりがいです。

重松 あき子

監査第1部
2011年入所



高橋 範子
金融監査部 マネージャー
2006年入所

仕事、子育て、 女性活躍、全部できる

大手監査法人に勤務していましたが、結婚を機に、新たなキャリアを積もうと転職しました。当法人は人材が多様で、一人ひとりのプロ意識が高く、働きやすい印象でした。入所後は様々な業種のインチャージを担当し、忙しくも自分の成長を実感した時期でした。出産、産休・育休を経て、新規に立ち上がった金融監査部に参画しました。仕事と育児の両立は大変ですが、今後、金融監査のさらなる品質向上を目指す一方で、女性の活躍機会を広げていきたいと思っています。



指野 豊
監査第2部
2008年入所

相手の話を聴き、 対話し、先を読む

相手の話を真摯に聴ける人は、公認会計士として重要な資質を持っていると言えます。経営者や経理担当の元へ足繁く通い、さまざまな人と関わり、対話する機会が多い仕事だからです。インチャージともなれば、経営者の目線に立ち、事業のダイナミックな動きを把握することも重要です。その状態から将来予測情報を判断します。私は入所1年目のスタッフも含めて積極的に議論する風土を養い、チーム運営をしています。スピード感をもって成長したい人には適した環境だと思います。

TOYOSTYLE

人の数だけプロへの道。

自分らしい働き方を手に入れよう。

事業を理解し、 俯瞰する目を養おう

最終的に監査業務に責任を持つパートナーには、常に物事を俯瞰的に見る力が求められます。クライアントの事業や事業環境を適切に理解し、どこに監査上対応すべきリスクが発生しやすいかを識別するためです。監査の実務では、会計・監査基準等に明確な回答のないさまざまな事象が生じます。公認会計士を目指す方は、財務諸表の理解はもちろん、その背景に何が起きているかを見る目を養ってください。

川久保 孝之
監査第2部 パートナー
2003年入所



グローバル時代の キャリア形成として

自ら手を挙げ、国際部のインチャージになりました。国際業務は、主に、海外にあるクライアントやその監査人から依頼され、日本で事業を展開する子会社の財務諸表監査や内部監査支援を行います。本国の会計監査人に報告する際に英語力を活かしたり、また、型にはまった業務ではないため、イチから業務を構築していく面白さがあります。医療やアパレルの外資系企業など、ユニークなクライアントが当法人の特徴。海外のビジネスに触れ、信頼関係を築いていく過程が楽しく、やりがいを感じます。

田口 浩司
国際部
2009年入所



入所1年目の体験談



松本 亮
監査第3部
2017年入所

入所したらさっそく3週間の新人研修です。監査実務を学んでいく中で、受験勉強のときのイメージとのギャップに多少戸惑いながら、会計士としての第一歩を踏み出したんだなぁと実感。

社内研修が終わったら、すぐに、第3四半期レビュー往査が始まります。不安な中での初のクライアント往査ですが、先輩スタッフのサポートもあり、安心です。

初の棚卸立会です。巨大な倉庫を歩き回ったり、巨大なタンクを見て回ります。大きい工場の場合は、車に乗って移動すること。

緊張の連続だった第3四半期があっという間に終わって、同期やチームの打ち上げに参加！疑問に思っている点は今のうちに解消しておかないと。

初の年度決算です。現金実査では、数え間違えないか心配で、手が震えました。また確認状の回収を担当します。現場が終わったあとに事務所にもどって、回収作業。同期と久しぶりに顔を合わせて、近況報告です。

有価証券報告書の表示が終わったら、期末監査の振り返り。今期は手探り状態で監査チームに迷惑をかけたことに反省…。来期はチームに貢献できるよう頑張ろう。

第1四半期レビュー監査が始まります。

期末決算監査～第1四半期と、目まぐるしい時期がひと段落すると、8月には夏期新人研修がジュニアスタッフ向けに行われます。

クライアントの子会社往査で初めての出張です。出張はベテランのスタッフと一緒にに行くことが多く、移動中にいろいろな経験談が聞けます。クライアントによっては海外出張もあります。

第2四半期レビュー監査が始まります。だんだん、調書の書き方にも慣れてきました。

入所してそろそろ1年がたちます。あっというまでした…。同期や監査チーム、気心の知れた先輩たちとの忘年会もあります。一年を振り返りながら、来年に向けての課題を確認。来年から入ってくる後輩はどんな人なんだろう…。今度は自分が先輩になるんだから、しっかりしなくちゃ。

新人研修

第3四半期
レビュー

期末会社法
監査

期末金商法
監査

第1四半期
レビュー

新人研修

第2四半期
レビュー

データで見るTOYO

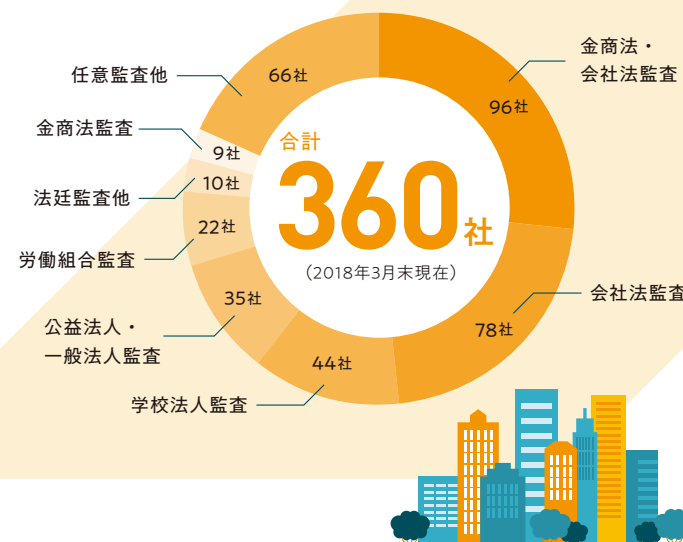
あるジュニアスタッフ関わった業種



有給消化率

48%

監査種類別関与先数



平均残業時間

年間平均有給取得日数



[繁忙期 4月・5月]

33.7
時間/月

スタッフの男女比

3:1

1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

